

2013年3月期 連結決算説明資料

双葉電子工業株式会社

2013年5月14日

目次

- 経営施策の状況 P 1 ~ 4
- 連結決算のポイント P 5
- 業績ダイジェスト P 6 ~ 7
- 営業利益増減分析 P 8
- セグメント別業績状況 P 9 ~12
- 四半期別業績推移 P13 ~14
- 貸借対照表の概要 P15
- キャッシュ・フロー P16
- 翌期の経営施策 P17 ~20
- 業績見通し P21 ~23

経営施策の状況

事業拡大施策

電子部品事業

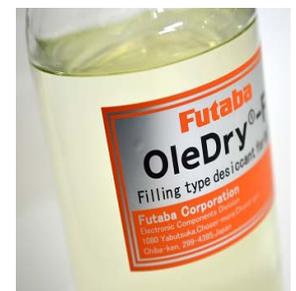
- 有機ELディスプレイのモバイル関連製品や車載市場への本格参入
- 超薄型フィルムタイプ有機ELディスプレイの開発
- タッチパネルの台湾やフィリピン子会社での量産立上げと用途拡大に向けた車載市場への本格参入
- 基板実装事業の拡大を見据えた米国子会社の工場拡張による生産能力の増強と台湾子会社の拡販体制の強化
- 有機EL用乾燥剤(OleDry-F)の乾燥性能の向上や多様な硬化方法などへの対応による用途拡大



車載向け有機ELディスプレイ



超薄型フィルムタイプ有機ELディスプレイ



有機EL用乾燥剤

経営施策の状況

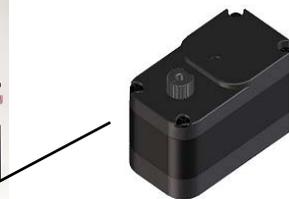
事業拡大施策

電子機器事業

- ハイエンド空用プロポ「18MZ」の50周年限定モデルやミドルクラス空用プロポ「14SG」の市場投入による高・中級機種市場の活性化
- バイク用リモコンや農業用無線機器の拡販
- 震災からの復興需要に対応したトラッククレーン向け産業用ラジコンの拡販
- ロボット用機能部品の大手パートワーク(分冊百科)販売会社への拡販(二足歩行ロボット)
- HEMS(ホームエネルギーマネジメントシステム)などの機器に組み込む920MHz帯無線モジュールの販売開始



ハイエンド空用プロポ
(18MZ50周年限定モデル)



ロボット用機能部品
(コマンド方式サーボモーター)

事業拡大施策

生産器材事業

- 燃料電池・モーターなどの環境・省エネ対応製品向けやレンズ・医療機器などの精密分野への拡販活動の強化
- プラスチック成形用計測関連製品の販売開始
(CEマーク取得の金型内樹脂圧力計測システム、
金型表面温度センサ)
- ECサイトを活用したプレートのネット販売開始
- アセアン市場拡販に向けたタイやベトナム子会社の生産能力増強と
インドネシアにおける新拠点の設立
- 中国市場でのマーケティング活動の継続と認知度向上のための
広報活動の強化



金型表面温度センサ



金型内樹脂圧力計測システム



ECサイト
(プレートオーダーサイト)

経営施策の状況

継続的な 収益改善施策

全体

- 特別転進支援制度の実施による事業規模に見合った人員の適正化

電子部品事業

- 有機ELディスプレイの部材見直しと内製化の推進による収益改善
- タッチパネルの需要の拡大に伴う生産拠点の最適化
- 蛍光表示管の中国子会社での生産を終了し、日本、台湾、フィリピンの3拠点に集約

電子機器事業

- 材料・部品の海外調達による原価力の向上
- 台湾子会社の開発体制や中国子会社の生産体制の強化
- 模型用エンジンの海外生産品目の拡大

生産器材事業

- 国内生産拠点や生産品目の見直しによる生産効率の改善
- 国内のロボットラインの拡充と海外拠点への水平展開による合理化の推進

連結決算のポイント

■ 連結売上高

新規事業参入に伴う増収効果があったものの、既存商品の低迷により、前期に対して4億円減収

■ 連結営業利益

売上げの減少や新規事業参入に伴うコスト増加などにより、前期に対して24億円減益

■ 連結当期純利益

営業利益の減少があったものの、円安による為替差益の計上により、経常利益は前期に対して4億円の減益に留まる。

しかし、転進支援費用28億円、減損損失27億円を特別損失に計上したことなどにより、61億円の最終損失

業績ダイジェスト(1)

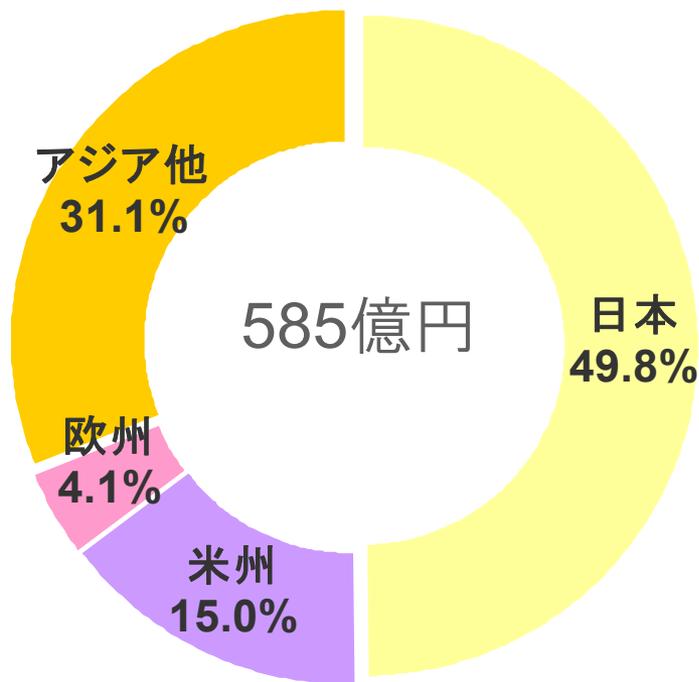
(金額単位:百万円)

	'11年度 (実績)	'12年度 (計画)	'12年度 (実績)	計画比		前期比	
				増減額	比率	増減額	比率
売上高	58,462	57,600	58,100	500	100.9%	▲361	99.4%
営業利益	1,050	▲1,750	▲1,358	391	—	▲2,408	—
利益率(%)	(1.8)	(▲3.0)	(▲2.3)				
(為替差損益)	(▲124)	(184)	(1,208)	(1,024)	656.8%	(1,332)	—
経常利益	1,067	▲750	655	1,405	—	▲412	61.4%
利益率(%)	(1.8)	(▲1.3)	(1.1)				
税引前当期純利益	162	▲4,700	▲5,159	▲459	—	▲5,321	—
利益率(%)	(0.3)	(▲8.2)	(▲8.9)				
当期純利益	▲803	▲5,700	▲6,123	▲423	—	▲5,320	—
利益率(%)	(▲1.4)	(▲9.9)	(▲10.5)				
設備投資	3,785	6,600	6,715	115	101.7%	2,929	177.4%
減価償却費	3,467	3,200	3,186	▲13	99.6%	▲281	91.9%
研究開発費	1,925	2,150	2,223	73	103.4%	298	115.5%
国内	1,542人	1,612人	1,589人	▲23人		47人	
海外	3,974人	4,125人	3,838人	▲287人		▲136人	
人 員	5,516人	5,737人	5,427人	▲310人		▲89人	
平均為替レート	79円/\$	81円/\$	83円/\$	2円/\$		4円/\$	

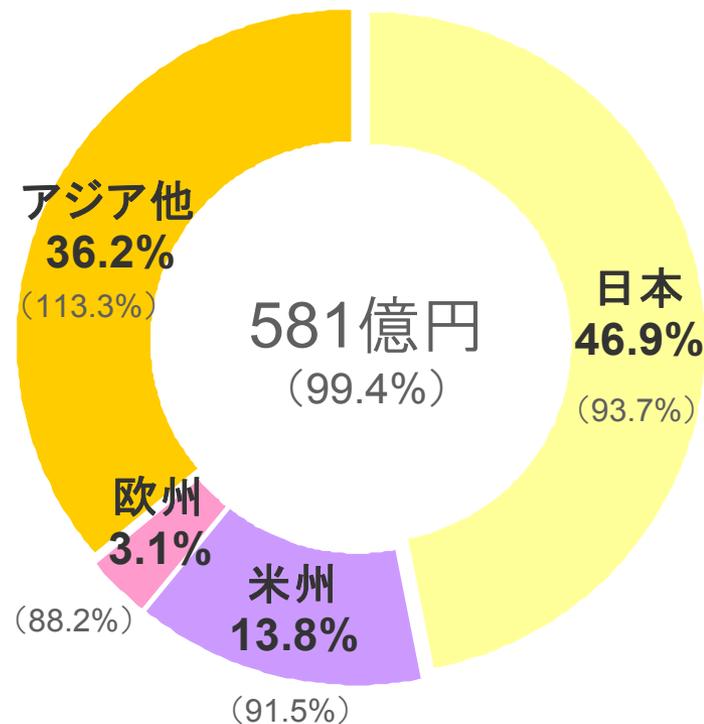
業績ダイジェスト(2)

市場地域別売上高構成比

※()内は前期比



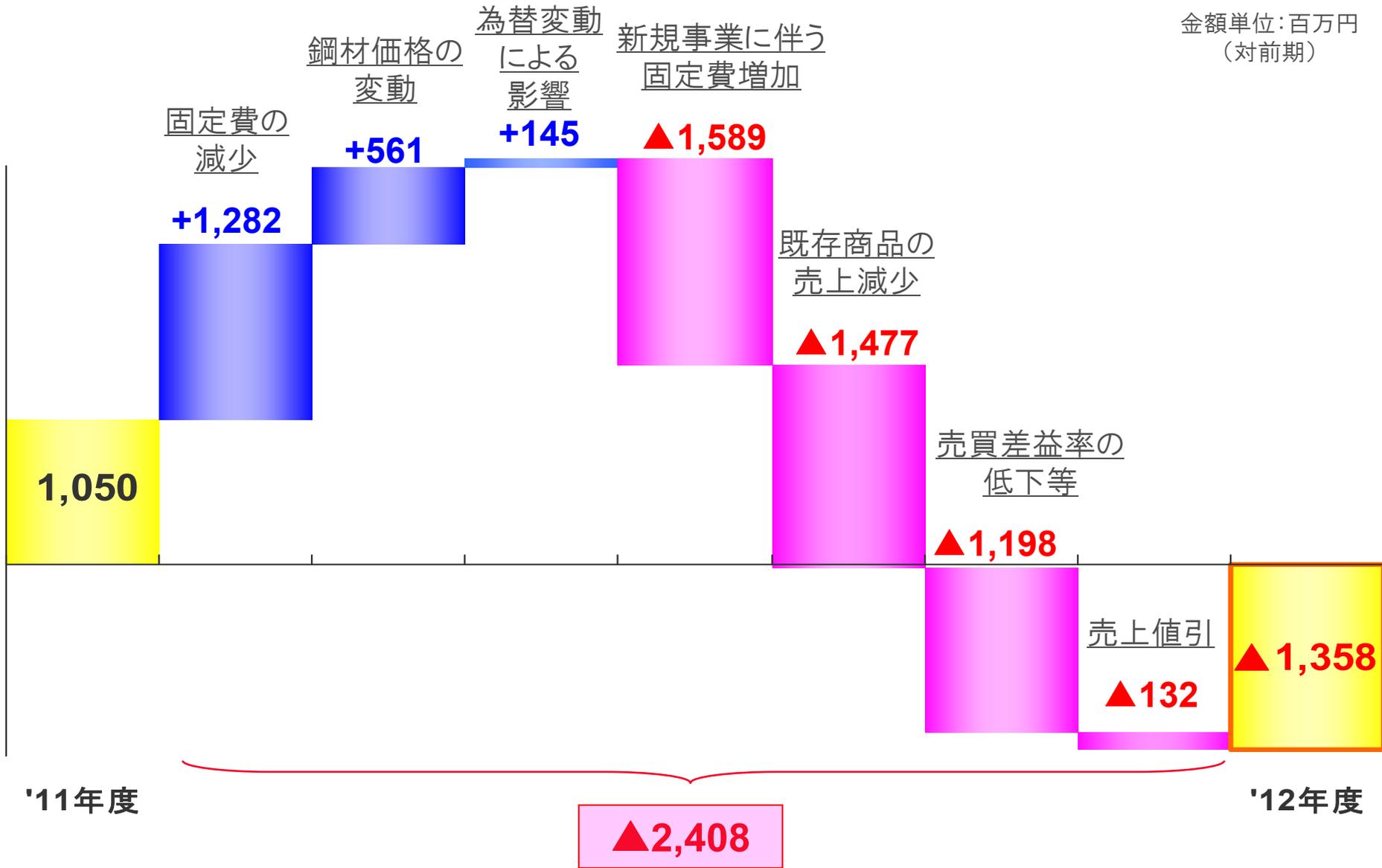
'11年度



'12年度

営業利益増減分析

金額単位：百万円
(対前期)



セグメント別業績状況(電子部品事業)

(金額単位:百万円)

	'11年度	'12年度	前期比
	通期(実績)	通期(実績)	
売上高	22,053	22,524	102.1%
営業利益	▲685	▲2,732	—
利益率(%)	(▲3.1)	(▲12.1)	
設備投資	1,903	2,980	156.6%
減価償却費	1,489	1,354	90.9%
研究開発費	1,147	1,525	132.9%
人員	2,522人	2,459人	

- 蛍光表示管は、海外市場において映像用途が伸び、国内市場では車載用途のエコカー向けが順調に推移したものの、海外市場における車載用途が伸び悩み、売上げは前期を下回る。
- 蛍光表示管モジュールは、POS用途が低迷したものの、海外・国内市場で車載用途が好調に推移したことから、売上げは前期をやや上回る。
- 有機ELディスプレイは、積極的な拡販活動の継続に加え、新たな市場開拓に注力したものの、売上げは計画を下回る。
- タッチパネルは、台湾やフィリピン子会社において量産ラインの立上げを行うと共に、車載用途への展開をはかる。
- 新規事業に伴うコストの増加や既存商品の売上げの減少により、営業利益は前期を下回る。

セグメント別業績状況(電子機器事業)

(金額単位:百万円)

	'11年度	'12年度	前期比
	通期(実績)	通期(実績)	
売上高	7,657	6,912	90.3%
営業利益	838	485	57.9%
利益率(%)	(11.0)	(7.0)	
設備投資	214	203	94.9%
減価償却費	308	281	91.1%
研究開発費	389	314	80.8%
人員	481人	477人	

- ホビー用ラジコン機器は、高・中級機種市場の活性化をはかったものの、北米市場における個人消費の低迷の影響から、売上げは前期を下回る。模型用エンジンについても、海外・国内市場共に個人消費が落ち込んだことから、売上げは前期を下回る。
- 産業用ラジコン機器は、トラッククレーン向けや農業関連向けなどのテレコントロール製品が順調に推移したことから、売上げは前期を上回る。
- 売上げの減少による影響が大きく、営業利益は前期を下回る。

セグメント別業績状況(生産器材事業)

(金額単位:百万円)

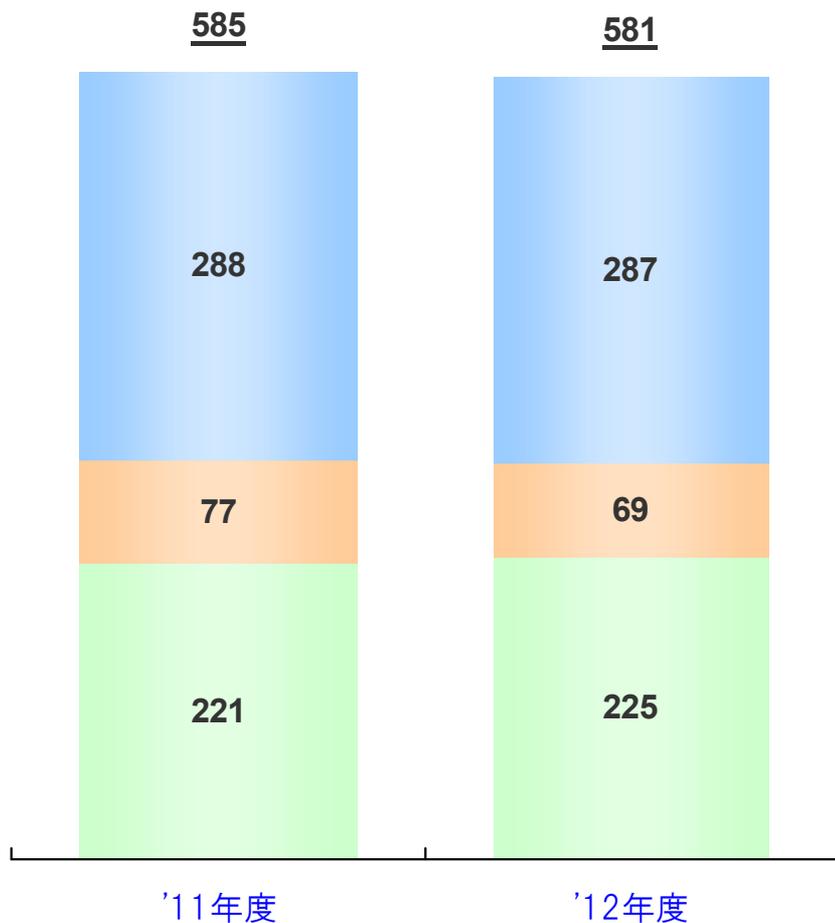
	'11年度	'12年度	前期比
	通期(実績)	通期(実績)	
売上高	28,752	28,666	99.7%
営業利益	897	889	99.1%
利益率(%)	(3.1)	(3.1)	
設備投資	1,668	3,531	211.6%
減価償却費	1,669	1,550	92.9%
研究開発費	387	383	98.9%
人員	2,352人	2,332人	

- 国内では、環境・省エネ対応製品向けや精密分野への営業活動を強化すると共に、プレジジョンプレートではネット販売を開始しましたが、自動車向けの受注減少や中国での日本製品の販売不振も重なり、売上げは前期を下回る。
- 海外では、韓国市場において自動車向けやスマートフォン向けが好調に推移したことから、売上げは前期を上回ったものの、中国市場では、欧州金融不安に起因する需要の減少から、売上げは前期を下回る。
- 売上高全体が、前期並みに推移したことにより、営業利益も前期並みとなる。

セグメント別業績状況

売上高

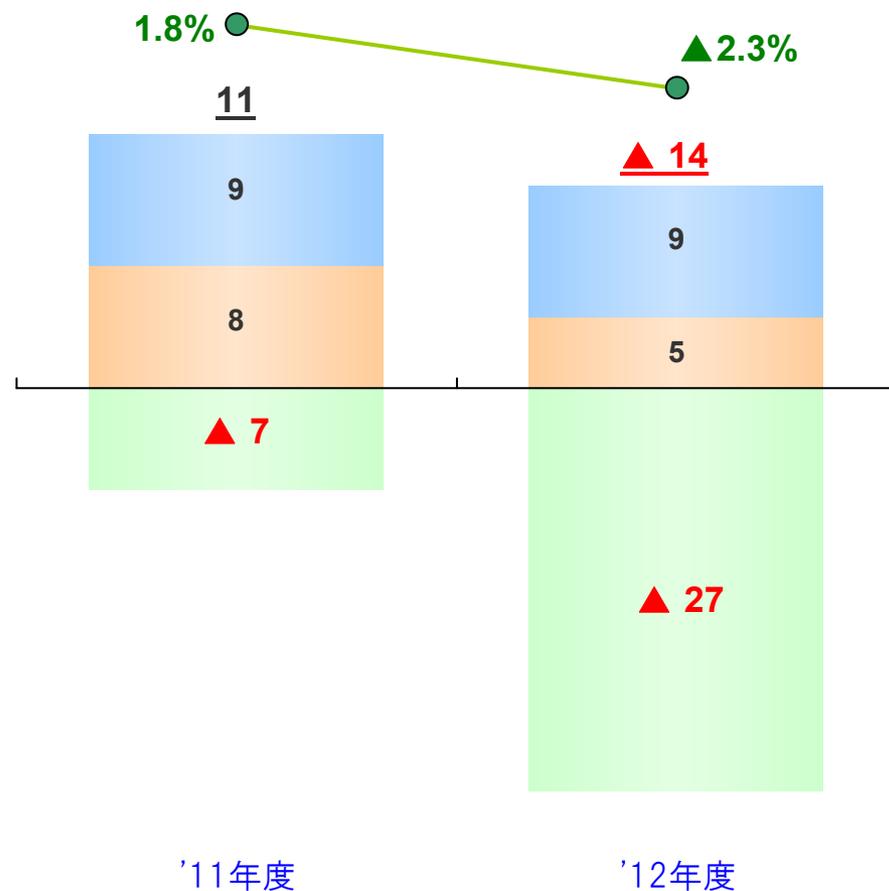
金額単位: 億円



電子部品 電子機器 生産器材

営業利益

金額単位: 億円



電子部品 電子機器 生産器材 営業利益率

四半期別業績推移(1)

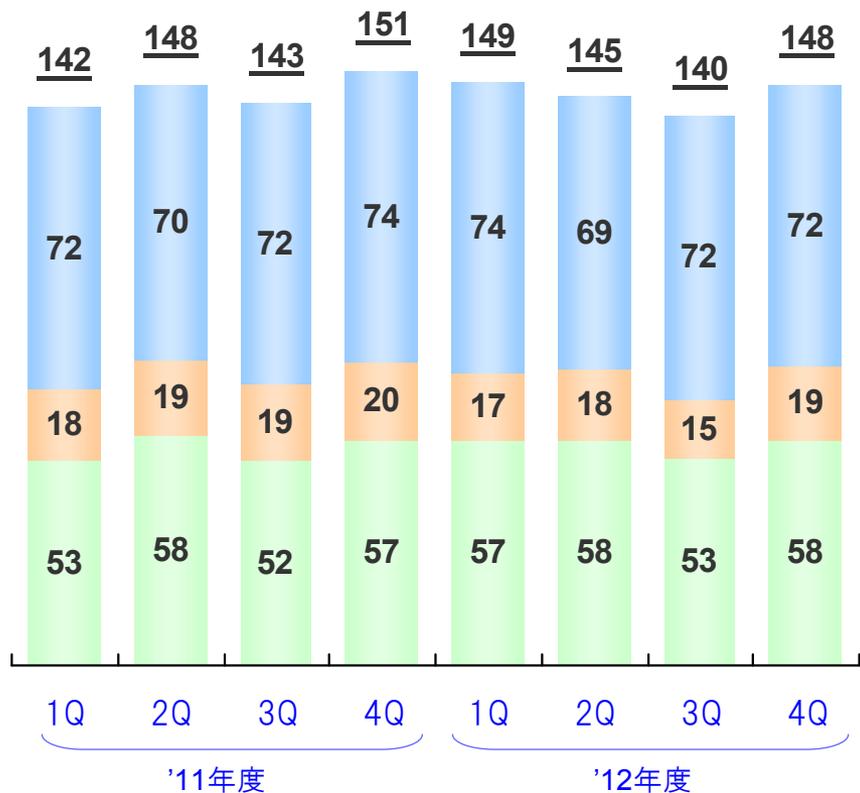
(金額単位:百万円)

	'11年度				'12年度				前年同期比		直前四半期比	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	増減額	比率	増減額	比率
電子部品	5,255	5,839	5,226	5,732	5,743	5,753	5,266	5,761	28	100.5%	495	109.4%
電子機器	1,789	1,939	1,916	2,012	1,734	1,788	1,514	1,874	▲137	93.2%	359	123.8%
生産器材	7,180	7,019	7,178	7,373	7,378	6,932	7,197	7,158	▲215	97.1%	▲39	99.5%
売上高	14,224	14,797	14,321	15,119	14,855	14,472	13,978	14,793	▲325	97.8%	814	105.8%
電子部品 利益率(%)	▲334 (▲6.4)	▲123 (▲2.1)	▲65 (▲1.3)	▲161 (▲2.8)	▲705 (▲12.3)	▲257 (▲4.5)	▲841 (▲16.0)	▲927 (▲16.1)	▲765	—	▲85	—
電子機器 利益率(%)	190 (10.6)	201 (10.4)	219 (11.5)	227 (11.3)	155 (9.0)	188 (10.6)	74 (4.9)	66 (3.6)	▲161	29.3%	▲7	89.4%
生産器材 利益率(%)	324 (4.5)	187 (2.7)	220 (3.1)	164 (2.2)	260 (3.5)	215 (3.1)	98 (1.4)	315 (4.4)	150	191.5%	217	322.0%
営業利益 利益率(%)	181 (1.3)	264 (1.8)	373 (2.6)	230 (1.5)	▲289 (▲1.9)	146 (1.0)	▲669 (▲4.8)	▲545 (▲3.7)	▲776	—	123	—
(為替差損益)	(▲369)	(▲337)	(125)	(457)	(▲343)	(▲274)	(1,024)	(801)	(343)	175.2%	(▲223)	78.2%
経常利益 利益率(%)	116 (0.8)	▲159 (▲1.1)	652 (4.6)	458 (3.0)	▲472 (▲3.2)	93 (0.6)	560 (4.0)	473 (3.2)	14	103.2%	▲86	84.5%
四半期純利益 利益率(%)	▲76 (▲0.5)	▲615 (▲4.2)	460 (3.2)	▲571 (▲3.8)	▲708 (▲4.8)	▲554 (▲3.8)	448 (3.2)	▲5,309 (▲35.9)	▲4,738	—	▲5,758	—
平均為替レート	82円/\$	78円/\$	78円/\$	79円/\$	80円/\$	78円/\$	81円/\$	91円/\$	12円/\$		10円/\$	
期末為替レート	81円/\$	77円/\$	78円/\$	82円/\$	79円/\$	78円/\$	87円/\$	94円/\$	12円/\$		7円/\$	

四半期別業績推移(2)

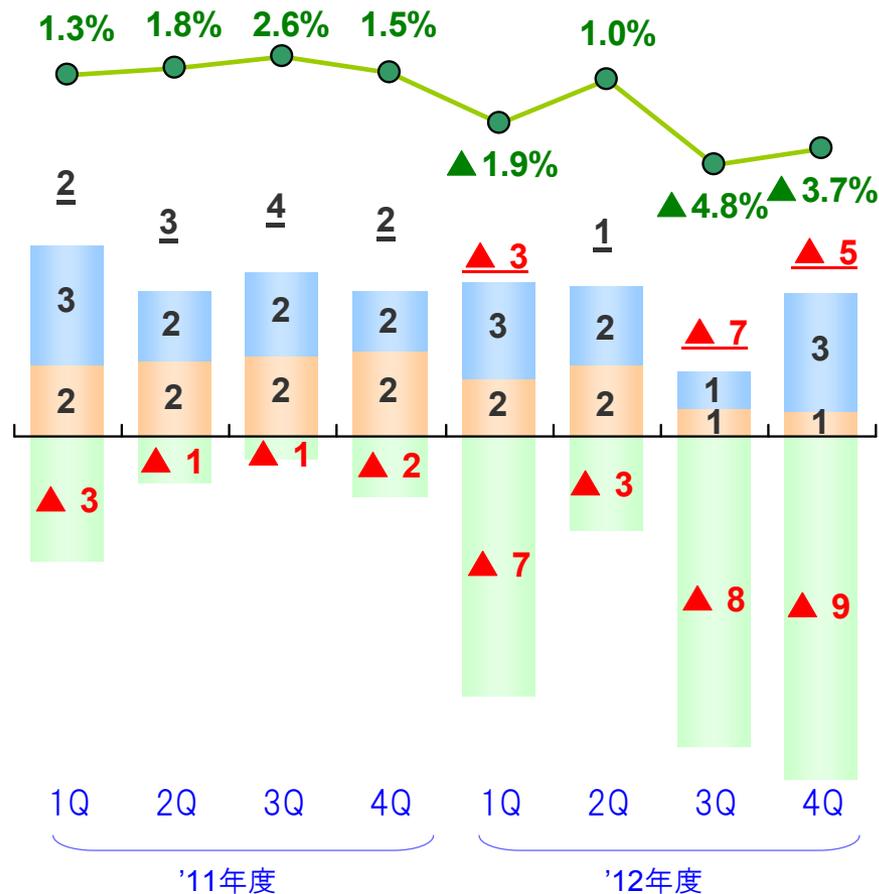
売上高

金額単位: 億円



営業利益

金額単位: 億円



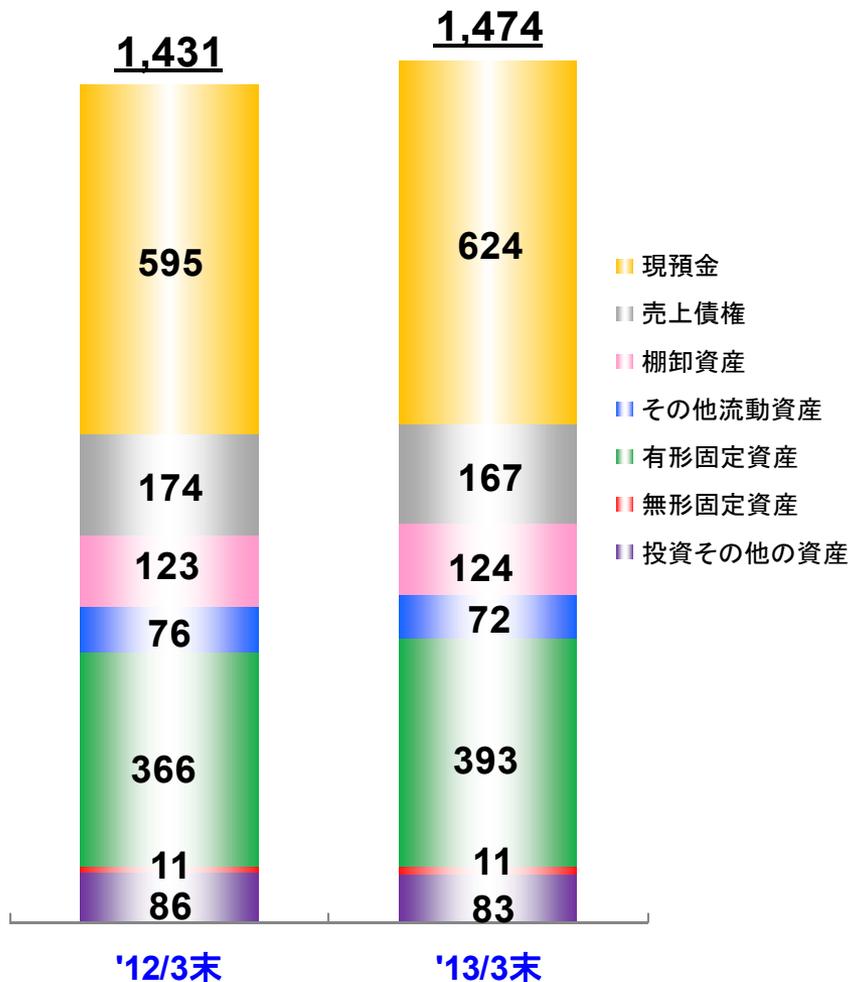
電子部品 電子機器 生産器材

電子部品 電子機器 生産器材 営業利益率

貸借対照表の概要

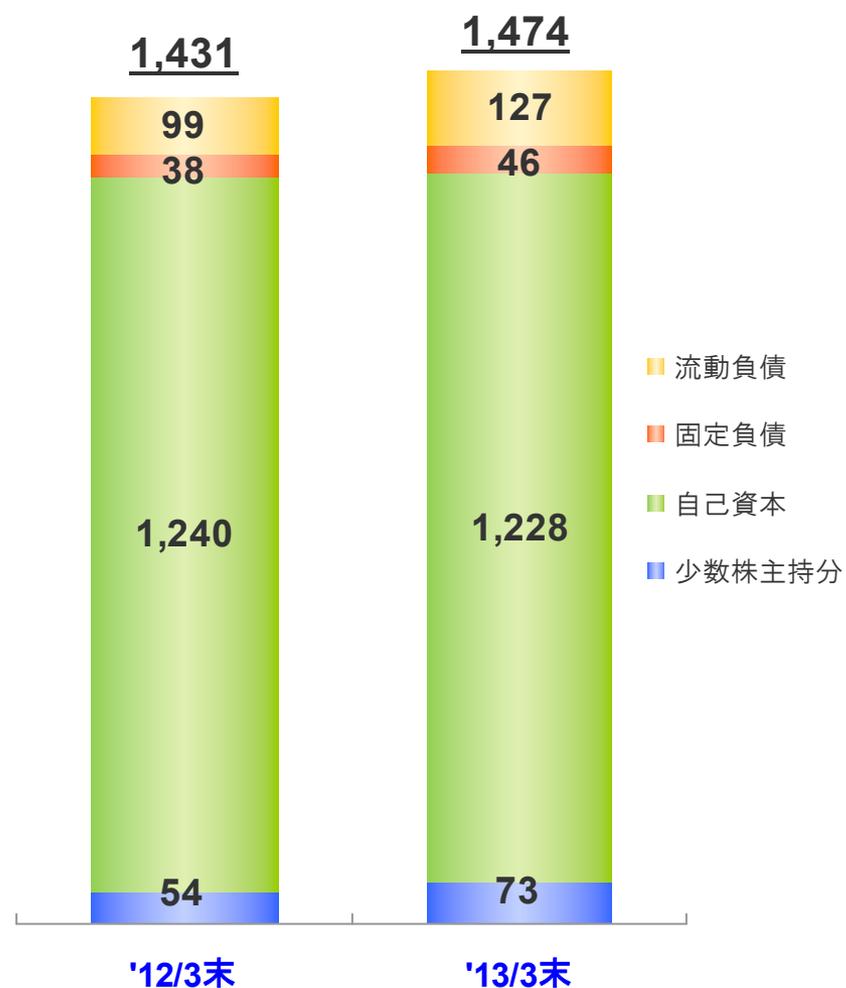
資産

金額単位：億円



負債・純資産

金額単位：億円



キャッシュ・フロー

(金額単位:百万円)

		'11年度 (通期)	'12年度 (通期)	増減
税金等調整前当期純利益		162	▲5,159	▲5,321
減価償却費		3,467	3,186	▲281
運転資金の増減	売上債権	▲636	1,703	2,339
	棚卸資産	▲693	1,152	1,845
	仕入債務	324	▲2,012	▲2,336
その他 (※1)		2,127	5,264	3,136
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		4,751	4,134	▲617
定期預金の増減		1,070	1,543	472
有形固定資産の取得・売却		▲3,037	▲5,334	▲2,297
投資有価証券の取得・売却		1,630	385	▲1,244
その他 (※2)		2,932	▲229	▲3,161
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		2,596	▲3,634	▲6,230
借入金の増減		▲36	337	373
配当金の支払		▲1,066	▲1,066	0
その他		▲313	64	377
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		▲1,415	▲664	750
現金及び現金同等物に係る換算差額		▲616	1,564	
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額		256	6	
現金及び現金同等物	期首残高	35,574	41,146	
	期末残高	41,146	42,552	
	増減額	5,572	1,405	

主要因 (※1) '11年度(通期):1,069百万円(退職給付引当金の増加) '12年度(通期):2,823百万円(転進支援費用) 2,673百万円(減損損失)
 (※2) '11年度(通期):2,717百万円(特定金外信託の解約による収入)

事業拡大施策

電子部品事業

- 純正車載向け有機ELディスプレイの販売開始
- フィルムタイプ有機ELディスプレイのスピーディーな技術開発と市場投入
- 米国や台湾子会社での受託製造事業の拡大
- 純正車載向けタッチパネルの販売開始とグローバル市場への販売拡大
- 有機EL用乾燥剤(OleDry-F)の有機EL照明分野への展開の加速

事業拡大施策

電子機器事業

- 空用・車用プロポの新製品の継続的かつタイムリーな投入による高・中級機種市場の活性化
- 空用・車用ガソリンエンジンの開発・販売
- ソリューション提案による市場拡大と新用途開拓による事業領域の拡大(地域情報告知システム)
- コマンド方式サーボモーターやアクチュエータの新分野への事業の拡大
- 産業用ラジコン機器の海外展開の加速

事業拡大施策

生産器材事業

- 高精度打抜き加工やホットランナーシステム・モールドマーシャリングシステムなどの型設計から成形に至るプロセスの合理化を実現するトータルソリューションの提供
- 需要が拡大するタイやベトナムを中心とした海外市場への展開の加速
- 自動車市場を視野に入れたインドネシア新拠点でのモールドベースの販売の促進
- 中国4拠点の販売・購買・生産体制の再構築による拡販の推進
- 韓国子会社における大型モールドベースの生産ラインの再編

翌期の経営施策

継続的な
収益改善施策

電子部品事業

- 有機ELディスプレイの販売強化による操業度向上と歩留改善による収益の改善
- タッチパネルの部材調達の見直しや組立工程の自動化による原価低減の推進
- 蛍光表示管モジュールの生産拠点の統廃合を含む体制の見直しによる収益力の向上

電子機器事業

- 中国子会社への量産移管の加速
- 最適地購買の推進でコスト競争力の強化
- 国内子会社を含めた物流統合による原価低減の推進

生産器材事業

- 国内生産拠点の統廃合と最適地生産の推進による収益力の改善
- グローバル調達の拡大によるコスト対応力の強化

業績見通し(1)

(金額単位：百万円)

	通期				第2四半期(累計)			
	'12年度 (実績)	'13年度 (計画)	増減額	前期比	'12年4~9 (実績)	'13年4~9 (計画)	増減額	前年同期比
電子部品	22,524	23,000	475	102.1%	11,496	11,000	▲496	95.7%
電子機器	6,912	8,000	1,087	115.7%	3,522	3,600	77	102.2%
生産器材	28,666	32,000	3,333	111.6%	14,310	15,500	1,189	108.3%
売上高	58,100	63,000	4,899	108.4%	29,328	30,100	771	102.6%
電子部品 利益率(%)	▲2,732 (▲12.1)	▲1,200 (▲5.2)	1,532	—	▲962 (▲8.4)	▲650 (▲5.9)	312	—
電子機器 利益率(%)	485 (7.0)	1,000 (12.5)	514	206.0%	344 (9.8)	450 (12.5)	105	130.8%
生産器材 利益率(%)	889 (3.1)	2,500 (7.8)	1,610	281.1%	475 (3.3)	1,150 (7.4)	674	241.9%
営業利益 利益率(%)	▲1,358 (▲2.3)	2,300 (3.7)	3,658	—	▲143 (▲0.5)	950 (3.2)	1,093	—
(為替差損益)	(1,208)	(▲373)	(▲1,581)	—	(▲617)	(▲373)	(244)	—
経常利益 利益率(%)	655 (1.1)	2,600 (4.1)	1,944	396.8%	▲379 (▲1.3)	950 (3.2)	1,329	—
税引前当期純利益 利益率(%)	▲5,159 (▲8.9)	2,300 (3.7)	7,459	—	▲718 (▲2.4)	850 (2.8)	1,568	—
当期純利益 利益率(%)	▲6,123 (▲10.5)	700 (1.1)	6,823	—	▲1,262 (▲4.3)	100 (0.3)	1,362	—
平均為替レート	83円/\$	90円/\$	7円/\$		79円/\$	90円/\$	11円/\$	

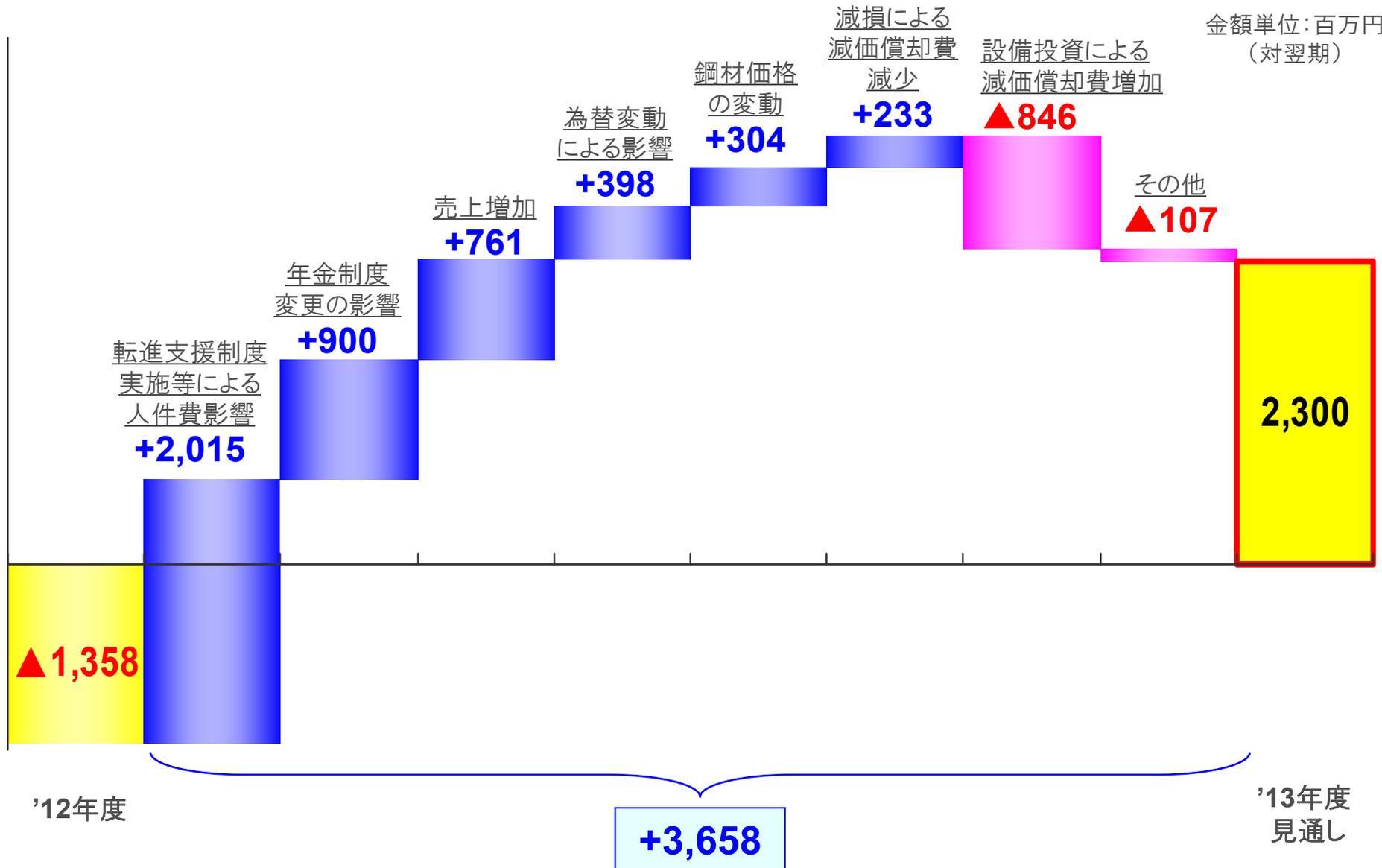
業績見通し(2)

(金額単位：百万円)

	通期				第2四半期(累計)			
	'12年度 (実績)	'13年度 (計画)	増減額	前期比	'12年4~9 (実績)	'13年4~9 (計画)	増減額	前年同期比
電子部品	2,980	1,800	▲1,180	60.4%	1,715	1,300	▲415	75.8%
電子機器	203	200	▲3	98.4%	38	100	61	257.4%
生産器材	3,531	2,900	▲631	82.1%	922	1,300	377	140.9%
設備投資	6,715	4,900	▲1,815	73.0%	2,677	2,700	22	100.9%
電子部品	1,354	1,800	445	132.9%	641	900	258	140.4%
電子機器	281	200	▲81	71.1%	135	100	▲35	73.7%
生産器材	1,550	1,800	249	116.1%	724	800	75	110.5%
減価償却費	3,186	3,800	613	119.3%	1,501	1,800	298	119.9%
電子部品	1,525	1,100	▲425	72.1%	759	600	▲159	79.0%
電子機器	314	500	185	158.8%	165	200	34	120.9%
生産器材	383	400	16	104.3%	188	200	11	106.3%
研究開発費	2,223	2,000	▲223	90.0%	1,112	1,000	▲112	89.9%
国内	1,589人	1,401人	▲188人		1,609人	1,412人	▲197人	
海外	3,838人	3,810人	▲28人		4,031人	3,658人	▲373人	
人員	5,427人	5,211人	▲216人		5,640人	5,070人	▲570人	

業績見通し(3)営業利益増減分析

金額単位：百万円
(対翌期)



注意事項

1. 本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が合理的であると判断する一定の前提条件に基づいた見通しであり、為替などの潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績予想とは異なる結果となり得る事をご承知おき下さい。
2. 本資料に記載されている金額は、百万円は単位未満を切り捨て、億円は単位未満を四捨五入して表示しております。